

とちぎの未来を考えるシンポジウム（H30.2.1）

～インフラを守り、賢く使う地域活性化～

主催：国土交通省、下野新聞社
共催：インフラメンテナンス国民会議

- 多くのインフラの老朽化が進行する一方で、インフラは地域の生産性向上や生活の質の向上等に寄与し、地域活性化に大きな役割を果たすことが期待されることから、インフラをどのように守り、活性化へつなげるかを考えるシンポジウムを開催
- 講演者、パネリストからは「インフラの魅力や価値を地域が見出し、観光や地域産業の活性化につなげることが重要」、「経済成長のためにはインフラメンテナンスをはじめ、地域密着型の産業が21世紀の基幹産業となる」といった意見があった

参加人数：約300名



インフラメンテナンスやインフラツーリズムのパネル展示

◇特別講演① 『地域活性化におけるインフラの役割』



「人口減少などのインフラを取り巻く諸問題がある中で、地域の人々の生活を支えるインフラをしっかりと守っていくことが重要」

国土交通省
技監 森昌文氏

◇特別講演② 『インフラ産業の革新と地方創生』



「経済成長には、地域密着の産業が大事であり、国内ではメンテナンスなどのインフラ関係やローカル型産業が基幹となる」

株式会社経営共創基盤
代表取締役CEO
インフラメンテナンス国民会議
会長 富山和彦氏

◇パネルディスカッション 『インフラを守り、賢く使う地域活性化』

○コーディネーター：
下野新聞社 論説委員 柴田正人氏

○パネリスト：
(株)経営共創基盤 代表取締役CEO
富山和彦氏

(株)JTB総研 コンサルティング事業部
主任研究員 河野まゆ子氏

(有)フェードイン 代表 工藤敬子氏
国土交通省 技監 森昌文氏



「地域社会全体でインフラを守り未来へ引き継いでいくことが大事」（柴田論説委員）



(株)JTB総研 河野氏



(有)フェードイン 工藤氏

主なコメント

- ・土木遺産を「地域を理解するインデックス」として編集し、インフラを見に来た人に、地域の歴史や物語性を伝達することが重要（河野氏）
- ・ローカルな話だけでなく、メンテナンスなど世界最先端技術も知ることができるインフラを、再解釈して外へ発信していけると良い（河野氏）
- ・次の時代を生きる子供たちに地域やインフラの未来を考える機会を作ることが大切（工藤氏）
- ・交通（地域のバスや鉄道）などの地域型産業は、共存共栄の精神でインフラを活用すべき（富山氏）
- ・メンテナンスに加え、交通結節点などのインフラを地域でいかにつくり上げ、上手に使っていくのかが大事 栃木を大きく変身させてほしい（森技監）